

令和7年度 江戸川区立篠崎第五小学校 第3学年算数科 評価規準

● みんなで算数をはじめよう!／ひき算のヒミツ

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動(★は「デジタルコンテンツ」)	知識・技能	思考・判断・表現
	2 5 1 0	みんなで算数をはじめよう!／算数で使いたい見方・考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・「みんなで算数をはじめよう!」及び「算数で使いたい見方・考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	・問題解決の進め方を理解している。	
		ひき算のヒミツ		・「ひき算のヒミツ」の問題に取り組み、2つの数字を使って2位数-2位数の式を作り、答えになる数のきまりを考える。 ★ワークシート「ひき算の式をつくろう(1～5)」「ひき算の式をつくろう(1～9)」を使って活動する。		・答えが同じになる式のきまりについて、筋道を立てて考えたり表現したりしている。
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。						

I かけ算のきまり	
◆単元の目標と評価規準	
○乗法に関して成り立つ性質について理解し、交換法則、結合法則、分配法則などが成り立つことを図や式などを用いて考える力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、その過程を振り返り、計算の工夫などに生かせるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)、A(3)ア(ア)(ウ)、A(3)イ(ア)、内(3)(4)】	
	・乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質を理解している。<知・技>
	・数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を見いだしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
	・乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

2 時こくと時間	
◆単元の目標と評価規準	
○時間の単位「秒」について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めることができ、日常生活に生かしている。また、時刻と時間を表したり求めたりすることに進んで関わろうとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)(イ)、C(2)イ(ア)】	
	・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。また、時間の単位「秒」について知り、1分=60秒の関係を理解している。<知・技>
	・時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かしている。<思・判・表>
	・時刻と時間に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

3 たし算とひき算	
◆単元の目標と評価規準	
○3位数や4位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)、A(2)イ(ア)、内(2)】	
	・3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。＜知・技＞
	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞
	・加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

4 わり算		
◆単元の目標と評価規準		
○除法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、除法について考えることに進んで関わり、除法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)、A(4)イ(ア)(イ)】		
	・除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。また、簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算のしかたを知っている。＜知・技＞	
	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	
	・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞	

■ 1/2に分けよう

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	70		①1/2の大きさを方眼のます目の個数に着目して捉えることで、分数についての理解を深める。	・16個のます目の1/2に色を塗る活動をおして、形は違っても、ます目の個数に着目すると1/2といえる場合があることを知る。 ・12個のます目の1/2にも色を塗り、16個のます目の1/2とはます目の数が異なることを知る。		・方眼のます目の個数に着目し、1/2の大きさのいろいろな表し方を考えている。

5 長さ	
◆単元の目標と評価規準	
○長さの単位「km」、道のりと距離の意味、及び巻尺について知り、計器を適切に選んで長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることによって進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)】	
	・長さの単位「km」について知り、単位の間係を理解し、長さについておよその見当をつけ計器を適切に選んで測定することができる。<知・技>
	・測定するものの特徴に着目し、ものさしでは測りにくいところの長さの測り方を考えている。<思・判・表>
	・長さを比べたり測定したりすることによって進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

6 表とばうグラフ	
◆単元の目標と評価規準	
○棒グラフや二次元表について理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現する力を身につける。また、データを分析することに進んで関わり、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)(イ)、D(1)イ(ア)、内(8)】	
	・棒グラフや二次元表の特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。<知・技>
	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。<思・判・表>
	・データを分析することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

7 あまりのあるわり算	
◆単元の目標と評価規準	
○あまりのある除法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考えたり、計算の確かめのしかたを考えたりする力を身につける。また、除法について考えることに進んで関わり、除法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【 学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、A(4)イ(ア)(イ)】	
	・あまりのある除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。<知・技>
	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
	・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

■ なみ木道

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	108 9		①②木の本数と間の数 の関係の問題(植木算)を、 図や式などを用いて筋道 を立てて考えることができ る。			・木の本数と間の数に関 係の問題(植木算)を、図 や式などを用いて筋道を 立てて考えている。

8 10000より大きい数	
◆単元の目標と評価規準	
○万の単位について知り、十進位取り記数法による数の表し方及び10倍、100倍、1000倍、1/10にした大きさの数について理解し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考える力を身につける。また、整数の表し方に進んで関わり、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ)(ウ)、A(1)イ(ア)、内(1)】	
	・万の単位について知り、十進位取り記数法による数の表し方及び10倍、100倍、1000倍、1/10にした大きさの数について理解し、表すことができる。 <知・技>
	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしている。<思・判・表>
	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

9 円と球	
◆単元の目標と評価規準	
○円とその中心、半径、直径について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、円に関連して、球についても理解する。また、円や球に進んで関わり、身のまわりのものの形を円や球として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ウ)、B(1)イ(ア)】	
	・円とその中心、半径、直径について理解し、円を作図したり長さを写し取ったりする道具としてコンパスを用いることができる。また、円に関連して、球についても理解している。<知・技>
	・円の中心、半径、直径に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を円や球として捉えている。<思・判・表>
	・円や球に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

● かけ算とわり算の図

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	1 3 6 5 1 3 9		①乗法や除法の数直線の見方や用い方を理解する。	・15個のいちごを1人に5個ずつ3人に配る場面で、テープ図と式を関連づけて捉え、乗法と除法の数直線の見方を知る。 ・10円のあめを4個買うときの代金を求める式が 10×4 になる理由を、数直線を用いて説明する。		・乗法と除法の相互関係をもとに、数直線の見方やかき方を考えている。
			②乗法や除法の数直線のかき方や用い方を理解する。	・1個30円のチョコレートを3個買う場面で、乗法の数直線のかき方を知る。 ・18個のあめを3人で等分する場面で、除法の数直線のかき方を知る。	・乗法、除法の数直線のかき方を理解し、問題場면을数直線に表すことができる。	
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・図を用いると場面や数量の関係が捉えやすくなることに気づき生活や学習に活用しようとしている。						

10 かけ算の筆算	
◆単元の目標と評価規準	
○2位数や3位数に1位数をかける乗法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)、A(3)イ(ア)、内(2)】	
	・2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。＜知・技＞
	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞
	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

11 重さ	
◆単元の目標と評価規準	
○重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して重さを測定する力を身につけるとともに、長さ、かさ、重さの単位の関係を統合的に考察する力を身につける。また、重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)、内(7)】	
	・重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味と単位の間を理解し、重さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>
	・身のまわりのものの特徴に着目し、単位の間を統合的に考察している。<思・判・表>
	・重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>

12 分数	
◆単元の目標と評価規準	
○分数の意味と表し方、及び簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり、計算のしかたを考えたりする力を身につける。 また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(ア)(イ)(ウ)、A(6)イ(ア)】	
	・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表す数としての分数の意味と表し方、及び分数は単位分数のいくつ分で表せることを理解するとともに、簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり計算したりすることができる。<知・技>
	・数のもとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えているとともに、分数を日常生活に生かしている。<思・判・表>
	・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>

13 三角形		
◆単元の目標と評価規準		
○二等辺三角形、正三角形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、基本的な図形と関連して角について知る。また、図形の特徴を見いだすことに進んで関わり、身のまわりのものの形を二等辺三角形、正三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)、内(6)】		
	・二等辺三角形、正三角形について理解し、作図などをとおしてそれらの関係に次第に着目することができる。また、基本的な図形と関連して角について知っている。＜知・技＞	
	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を図形として捉えている。＜思・判・表＞	
	・二等辺三角形、正三角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞	

14 □を使った式と図		
◆単元の目標と評価規準		
○数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりする力を身につける。また、□を用いた式に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(7)ア(ア)、A(7)イ(ア)】		
	・数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、□に数をあてはめて調べたりすることができる。＜知・技＞	
	・数量の關係に着目し、数量の關係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりしている。＜思・判・表＞	
	・数量の関係を表す式に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞	

■ タイルは何まい

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	7 3		①正三角形の敷き詰め模様からほかの図形を見だし、その図形をまともとして捉え、乗法の式を用いて正三角形の枚数を表すことができる。	・規則的に並んだ正三角形のタイルの枚数の求め方を、 8×3 、 4×6 、…など、いろいろな式で考える。		・規則的に並んだタイルの枚数を工夫して数えることとおして、図形、数、式の多様な見方を見だしている。

15 小数		
◆単元の目標と評価規準		
○小数の意味と表し方、及び小数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり、計算のしかたを考えたりする力を身につける。また、小数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(5)ア(ア)(イ)、A(5)イ(ア)、内(5)】		
	・端数部分の大きさを表す数としての小数の意味と表し方を理解するとともに、小数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり計算したりすることができる。＜知・技＞	
	・数のまともに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	
	・小数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞	

■ まほうじん

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	9 0		①魔方陣の空欄にあてはまる数を、筋道を立てて考えることができる。	・魔方陣のしくみを知り、空欄にあてはまる数を考える。 ・空欄の数を増やした魔方陣や、小数の魔方陣にも取り組む。		・提示された条件をもとに、空欄にあてはまる数値の求め方を、式を用いて筋道を立てて考えている。

16 2けたの数のかけ算	
◆単元の目標と評価規準	
○2位数や3位数に2位数をかける乗法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)、A(3)イ(ア)】	
	・2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。＜知・技＞
	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞
	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

■ ドッジボールのコートをかこう

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	104		①図形の定義や性質、作図のしかたをもとに、校庭にドッジボールのコートをかく方法を理解する。	・巻尺やひも、棒を使って、直角をつくって長方形をかいたり、半径を決めて円をかいたりして、校庭にドッジボールのコートをかく。		・図形の定義や性質、作図のしかたを、日常生活の問題解決に生かしている。

17 倍の計算	
◆単元の目標と評価規準	
○ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解するとともに、図や式などを用いて数量の関係を考察する力を身につける。また、倍の計算に進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)(ウ)、A(4)イ(ア)】	
	・ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解している。＜知・技＞
	・ある数量ともう一方の数量との関係に着目し、図や式などを用いて、既習の乗法や除法と関連づけながら演算の意味を考察している。＜思・判・表＞
	・倍の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

18 そろばん		
◆単元の目標と評価規準		
○そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の計算のしかたを考える力を身につける。また、そろばんに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(8)ア(ア)(イ)、A(8)イ(ア)】		
	・そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができる。＜知・技＞	
	・そろばんのしくみに着目し、簡単な加法及び減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	
	・そろばんに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞	

■ カレンダーを調べよう

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	1 1 5		①規則的に並んだ数のきまりを筋道立てて考え解決することをおして、論理的な思考力を伸ばす。	・カレンダーで3つ並んだ数の和を考察して、きまりを見つける。		・規則的に並んだ数のきまりを筋道を立てて考えている。

● 算数を使って考えよう

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	1 1 6 5 1 1 9	(給食調べ) (本だな)	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。	・給食アンケートをまとめた表やグラフをもとに、「好きなメニュー調べ」の結果からよみ取れることを考え、説明する。 ・部屋の図をもとに、ドアを開くときに動く範囲を考え、どの本棚を置けばよいかを説明する。		・表やグラフを用いて表されたデータをよみ取ったり、その根拠についてデータをもとに説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。 ・日常の場面から算数の問題を見だし、長さや円などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。						

◎ 3年のまとめ

	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
	1 2 3 5		①②③④第3学年の学習内容の問題を解決することができる。	・数と計算、図形、はかり方、表とグラフについての問題に取り組む。	・第3学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	
【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。 ・第3学年で学習した基本的な問題について、それらが確実に身につくように取り組もうとしている。						